

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870300690
法人名	医療法人 三善会
事業所名	グループホーム丸の内はとぼっぼ
所在地	宇和島市丸之内1-4-7
自己評価作成日	平成22年6月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年7月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出支援をして、気分転換をはかり、楽しく過ごしてもらうことに力を入れている。
(花見・外食・ドライブ・足湯等)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

この一年間、事業所では「利用者の思いに沿った支援」に力を入れて取り組んで来られた。職員は、利用者と一緒に暮らすようになった時等に、お話を引き出すように努め、その時言われた言葉をそのまま記録に残しておられる。又、以前に得意だったことをすすめる場合、できなくなっていてショックを受けることのないよう注意深くかわるようになっている。
利用者は日によって体調や状態も違いがあり、事業所では、食事の準備には「できる方に、できる時、できることをしていただく」よう見極めて支援されている。魚屋が玄関先まで来てくれるようになっており、利用者も一緒に選んだり、調査訪問時には、食事の後、下膳や食器洗いをされている利用者も見られた。外出時は、乗る車ごとに、レストラン等をそれぞれ決めて外食を楽しまれている。お誕生日には「お寿司とおこわ、どちらがいいですか」等、ご本人の好みも踏まえて選びやすいよう、希望を聞くようにされている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目: 23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目: 9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目: 18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目: 2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目: 38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目: 4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目: 36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目: 11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目: 49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目: 30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目: 28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム丸の内はとぼっぼ

(ユニット名) 青鳩

記入者(管理者)

氏名 清水 素美子

評価完了日

平成22年 6月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) リビングに「自分らしく暮らしたい」という入居者から出た理念を掲げ、その人らしく生活出来るよう支援している。	
			(外部評価) 「一人ひとりその人らしく生活できるように支援します」という基本理念とともに、ユニット別に「自由で楽しい生活」「自分らしく生きたい」と理念を掲げてケアに取り組まれている。管理者は、地域の中で「気軽に立ち寄っていただけるようなホームにしたい」と考えておられ、お遍路さんの接待等もされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 自治会や行事にも参加している。	
			(外部評価) 地域に事業所のことを知っていただくために、自治会の方々に「地域密着型サービス事業所」の意義や目的をお話ししたり、年1回、ホーム便り「はとぼっぼ便り」を地域に回覧してもらっている。近くの教会の方や幼稚園児の訪問があったり、隣にコンビニができて、利用者も職員も、ちょっと出かけて買い物することができるようになったようだ。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 自治会長に運営推進会議に参加してもらったり、ホーム便りを回覧してもらっているが、まだまだ不十分。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)	(外部評価のみ)
			<p>2ヶ月に1回の運営推進会議で行事報告、研修報告、暮らしの報告をしている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	(自己評価)	(外部評価のみ)
			<p>運営推進会議にも参加してもらい、市のGH連絡協議会に参加している。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	(外部評価のみ)
			<p>玄関は日中は開放しており、身体拘束をしないケアに心がけている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>「利用者の自由を確保するために、ある程度のリスクが伴う」ことをご家族に説明し、了解していただいている。事業所では、ベッドから転倒するおそれのある場合は、ベッドを低くしたり、床にマットを敷く等されている。現在、夜間時、階段で転倒することを避けるための方策について、職員で検討をされているところである。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			虐待を見過ごすことのないように注意し防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			必要がある方に成年後見制度を利用している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			ご家族の方には入居時に説明し納得いただいている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			ご家族の訪問時に意見や希望を出してもらえるように働きかけている。	
			(外部評価)	
			毎月、ユニット別に便りを作成し、利用者の生活や行事の様子を知らせておられる。新しい職員が入ると、職員紹介欄に載せて、ご家族に報告されている。事業所の取り組みについてご家族の来訪時にご意見を聞くようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			ミーティングや面談時に出た意見を持ち、事業主を交えて主任会議や管理者会議に提案している。	
			(外部評価)	
			職員個々に気付いたことは、その都度主任に伝えたり、月1回のミーティングで話し合うようにされている。出された意見は、管理者から運営者に報告するようになっており、物干し場に屋根を付けてもらったり、テレビやDVDプレーヤーを購入されており、録画した歌番組を楽しむことができるようになったようだ。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			事業主を交えての管理者会議、主任会議に各職員の様子を知らせている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修の必要に応じて受講できる。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			県・市のGH連絡協議会に参加し研修等において交流の機会がある。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			できる限り入居前に自宅訪問させてもらい、ご本人やご家族の要望を確認して安心してもらえるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご本人、ご家族から詳しく話を聞かせていただき、入所後の支援に活かしている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 必要としている支援を見極め、ご家族の協力も求めるようにしている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 一緒に買物、食事作り、掃除や洗濯等をして共に生活している。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の方と連絡を取り合って協力していただき、ご本人を支えていく支援をしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 友人との会食に行かれたり、行きつけの美容院にお連れしたりと馴染みの関係が途切れないよう支援している。	
			(外部評価) お元気な頃の活動が少しでも続けられるよう、ご家族に相談しながら支援されている。又、友人の訪問の後には、話の内容によっては混乱されることもあるが、職員が同席してサポートし、馴染みの関係が続けられるように支援されている。ご自宅に地域の敬老会の案内が届いている場合は、ご家族のご意向もうかがい、参加できるよう職員が同行する等、支援されている。ご家族とお墓参りに出かける方もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士が関わり合い支え合いながら生活できるように見守るようにしている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所された方に時々来所していただいたり、入院された方のお見舞いにも行かせてもらったりしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 思いや希望にできるだけ添えるように支援している。 (外部評価) この一年間、事業所では「利用者の思いに沿った支援」に力を入れて取り組んで来られた。職員は、利用者となつた時等に、お話を引き出すように努め、その時言われた言葉をそのまま記録に残しておられる。又、以前に得意だったことをすすめる場合、できなくなっていてショック受けることのないよう、注意深くかかわるようにされている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人、ご家族から今までの生活をお聞きし、情報収集に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 介護記録、申し送りノートに目を通し一人お一人の状態把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ミーティングの中で出た意見やご家族の方にも相談しながらケアプランを作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画にご本人やご家族の発した言葉をそのままに、意向欄に記載されていた。ご家族の来訪時に意見や要望を聞いて、ご本人の希望、ご家族の希望を計画に反映するようにしている。計画について3ヶ月に1回モニタリングを行い、変化がなければ6ヶ月毎に見直しをされている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者毎の介護記録があり、スタッフ全員で共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>柔軟な対応ができるよう努めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>中高生・幼稚園児・教会等からのボランティアの受け入れや、消防署の協力を受け避難訓練を実施している</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人・ご家族の希望を優先し、ご家族の協力を得て かかりつけ医に受診できるよう支援している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者個々のこれまでのかかりつけ医に診てもらえる よう支援されており、ご家族が受診に付き添われたり、 ご都合に合わせて職員が同行されている。白内障 の手術を受ける際、混乱等で数日入院することがむづ かしい方があったようだが、ご家族と眼科、事業所が 連携を取って手術ができるよう支援された。ご本人は 新聞や週刊誌が読めるようになったととても喜ばれて いるようだ。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>スタッフに看護師が5名居りホームドクターに連絡を取り ながら健康管理をしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院時にはホームでの状態を知らせ、入院中は様子を見 に行き、退院時には入院中の状態や注意すべき事を 知らせていただいている。</p>	
			<p>(外部評価)</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホームでできることを説明し、必要時にはご家族と ホームドクターで話し合い方針を定めている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者個別に、状態変化時等、必要に応じてご家族と 終末期のあり方について話し合うようにされている。 「最期までここでいたい」と希望される利用者もある が、嚥下や呼吸の状態によって、事業所でできること が限られるため、入院を希望されるご家族が多い。</p> <p>現在、介護度重度の利用者もおられる。事業所では、 ご本人の希望やご家族の要望をお聞きしながら「事業 所で最期まで支援していきたい」と話しておられた。 ご本人の意向をご家族とも共有し、協力しながら、事 業所の理念にも沿って最期まで「その人らしい生活の 支援」に取り組んでいかれてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 年1回救命救急講習を受けている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回 避難訓練、消火訓練を実施している。	
			(外部評価) 年に2回の避難訓練は、すべて夜間想定で実施されている。利用者には、居室で待機してもらい、2階は、ベランダまで職員一人が誘導する訓練をされている。前回の訓練から地域の方にも参加をいただき、外に避難した利用者が国道に出ないように見守りをしてもらった。6月にスプリンクラーを設置して、米やインスタントラーメン・水等の備蓄も用意されている。地域の「防災訓練」には利用者1名と職員で参加して、地域の方と防災意識を高められた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 言葉掛けや対応には十分注意をしているが、適切で無かった時は反省して改善を心がけている。	
			(外部評価) 地域に向けたホーム便り「はとぼっぼ便り」には、利用者の写真は使わないようにされている。職員は、利用者と親しくなっても「利用者の横にご家族がおられる」と思って、ご本人が不快に思うような声かけはしない」よう、管理者は職員に伝えておられる。職員は、利用者の楽しい生活を支援するためには「笑顔が大切」と話しておられた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 聞いたり、問いかけしたり、本人の希望を大切にしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) できるだけ希望に添えるように努めている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 定期的にカットや洋服選びの支援をしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 希望を聞いたり、下ごしらえや配膳、あと片づけを一緒にしている。	
			(外部評価) 利用者は日によって体調や状態も違いがあり、事業所では、食事の準備には「できる方に、できる時、できることをしていただく」よう見極めて支援されている。魚屋が玄関先まで来てくれるようになっており、利用者も一緒に選んだり、調査訪問時には、食事の後、下膳や食器洗いをされている利用者もみられた。外出時は、乗る車ごとに、レストラン等をそれぞれ決めて外食を楽しまれている。お誕生日には「お寿司とおこわ、どちらがいいですか」等、ご本人の好みも踏まえて選びやすいよう、希望を聞くようにされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 月1回のカロリー計算やその人に合った食事形態を取っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後の声掛けや介助をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) できるだけ排泄パターンの把握に努め、トイレでの排泄ができるように誘導している。	
			(外部評価) 排便記録等は、職員間で共通理解できるよう「バナナ1本分」等、具体的に記すようにされている。昼間はご自分でトイレに行かれる方が多く、失敗された場合、職員は入浴等も合わせて支援する等、着替えや清潔にも気を付けるようにされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分摂取や散歩、薬の服用等個々に応じた予防に取り組んでいる。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 職員の確保できる時間帯ではあるが、ジャンケン等で順番を決めて不公平感の無いように支援をしている。	
			(外部評価) 2日に1回入浴するようになっている。外が暗くなってから入浴される方やお一人で1時間位ゆっくり入られる方もある。入浴を嫌がるような利用者もあるが、時間を置いたり、誘い方を工夫しながら3~4日に1回は入浴できるよう支援されている。浴室と脱衣所の間のすりガラスには、長いのれんを掛けておられ、着替えを好まないような方も清潔な衣服に着替えらえるよう、そっと支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 居室だけではなく、和室やソファ等で自由に休まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服用薬一覧表をスタッフルームに掲示しており、変更時には口頭、ノートにて申送り情報を共有し、また飲まれている薬の作用のファイルを備えている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 折り紙、日々の買物、カラオケ、ドライブ等で気分転換の支援をしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 希望に添えるような支援に努めている。 (外部評価) 城山周囲を散歩する方や商店街に買い物に行く方等、お一人で出かける方もある。職員と車で買い物に出かけたり、車いすで散歩される方もある。外出を好まない方もあるが、最初からは目的を告げず、2階から「ちょっと下まで」「ちょっと外まで」等、少しずつお誘いする等工夫されており、車に乗って出かければ、その後は、とても喜ばれるようだ。和霊さんの夏祭りには、3日間出かけ楽しまれた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 能力のある方は自己管理している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は自由に使用している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入居者の作品や季節の飾り付けをしている。テレビの音量にも気を配り、聞こえにくい方にはヘッドホンを利用し大きくなりすぎないように注意している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>食事中はテレビを消して、会話が聞き取りやすいよう配慮されていた。居間のテーブルは丸く、少人数で囲むようになっており、利用者同士の相性等も配慮しておられる。椅子の高さが高いような方には、足元に発砲スチロールの台が用意されていた。畳のコーナーで横になっている方には、つい立を立てて配慮をされていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングや廊下、玄関等にイスやソファを配置し、自由に過ごしていただいている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>仏壇や家族の写真や飾り棚など馴染みの物を置かれている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室のベッド・たんす・テーブル・椅子は備え付けとなっている。他にテレビや仏壇を持ち込まれたり、入居前に作ったタペストリーやご家族の写真を飾っておられる方もあった。入居当初は、馴染みのものも多くあったが、転倒の危険性等、ご本人の状態に応じ、シンプルになってきているような居室もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>バリアフリーになっていて、トイレ・浴室・洗面所・各居室は表示している。</p>	